

II 年間指導計画

めざす学校像	●授業・行事・生徒会活動・部活動に全力を尽くす「文武両道」の学校 ●自己実現を図るために確かな学力を育てる学校 ●生徒が自校に誇りを持ち、通いたくなる学校 ●生徒や保護者、地域から信頼される学校	学校教育目標	新しい多様化の時代を生きる心身ともにたくましい生徒の育成
めざす生徒像	●主体的に学び、考え、判断し、行動できる生徒 ●夢や目標に向かって、粘り強く努力し続ける生徒 ●自他を大切にし、思いやりと感謝の心を持った生徒	めざす教師像	●常に向上心を持ち、授業で勝負できる教師 ●生徒への深い愛情と使命感をもった魅力ある教師 ●チームで協力して組織的に動く教師集団

いじめ対策委員会

校長、教頭、生徒指導主事、学年主任、養護教諭
＊状況に応じて関係職員、各学年生徒指導担当、関係学級担任
S C、S S W、学校運営協議会委員等も含めて編成

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	いじめ問題対策委員会 ・指導方針の確認 ・1学期計画作成	※6 SNS講演会	家庭訪問	1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。 3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。 4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確實に行い、学校全体で組織的に対応する。
5月	職員会議 ※1 保護者向け啓発 (ネットいじめを含む) PTA総会、保護者会等	3年修学旅行 2年トライアル 1年林間学舎	個人面談・個人状況把握	危機管理の心構え「さしつせそ」 さ:最悪を想定する し:慎重に対処する す:素早く対処する せ:誠意を持って対処する
6月	緊急対応会議の適時開催(通年) いじめの実態把握のためのアンケート調査(市教委)	※2 学級・学年づくり 人間関係づくり グレードアップ週間	Q-U実施・検証	※1 職員会議 いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。
7月			※9 三者懇談・個人状況把握	※2 いじめ実態把握アンケート調査(市教委) 6月と11月に実施し、現状把握を行う。
8月				※3 家庭訪問 年度当初、各学年で家庭訪問を実施し、生活状況把握とともに、クラス内の生徒状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。
9月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有 ・2学期計画作成	職員会議	個人面談・個人状況把握	※4 個人面談・三者懇談・教育相談(個人状況把握) 必要に応じ個人面談を実施する。11月には教育相談を行い、その調査状況を元に個別に支援を行っていく。
10月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有	学級・学年づくり 人間関係づくり 体育大会 学習発表会		※5 保護者向け啓発／研修 ホームページ等を活用し、学校のいじめ防止基本方針を周知する。
11月	いじめの実態把握のためのアンケート	グレードアップ週間	Q-U実施・検証 教育相談・個人状況把握	※6 SNS講演会 昨今のソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について生徒や保護者対象に講演を実施し、注意を喚起する。
12月			三者懇談・個人状況把握	※7 人権教育・情報モラル研修 人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。
1月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有 ・3学期計画作成	学級・学年づくり 人間関係づくり	個人面談・個人状況把握	※8 学級・学年づくり／人間関係づくり 1学期、2学期を通して、クラスや学年の人間関係づくりについて学級活動等で学習する機会を持つ。
2月	職員会議			※9グレードアップ週間 生徒会を中心として、6月・11月に自分自身やクラスにおける学校生活を見直し、思いやりの心の育成やきまりを守る心を育てる。
3月	いじめ問題対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正	次年度に向けクラスづくり	教育相談・個人状況把握	